

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 2 日

事務事業名		上野沼やすらぎの里管理運営事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 040302000561	
政策体系	総合計画の施策名	0403 観光の振興				単独		所属課 050301	
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり				主要事業		商工観光課	
	施策名	03 観光の振興				市長マニフェスト			
	手段名	02 ②観光資源の充実と商品開発				未来PJ事業		グループ 商工観光グループ	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	07	01	04	01	00	観光事業		
法令根拠						単年度繰返し (昭和61年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>上野沼湖畔にある上野沼やすらぎの里キャンプ場の管理運営事業である。施設の管理は、嘱託職員3名で行っている。営業期間は通年である(休業=年末年始9日間・第1、第3水曜日)</p> <p>敷地内には木のぬくもりの伝わるケビンをはじめ、ゆったりとしたオートキャンプ場やバーベキューサイトもあり、家族や友人と楽しいひとときを過ごすことができる。</p>	<p>施設管理運営、委託業務管理、土地賃貸契約、土地借上料支払事務、嘱託職員・非常勤職員賃金支払い事務</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
施設管理運営、委託業務管理、土地賃貸契約、土地借上料支払事務、嘱託職員・非常勤職員賃金支払い事務	年間営業日数	日	337.00	337.00	337.00	337.00	337.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
県民・首都圏の人々	県民・首都圏の人口	千人	42,794.00	42,795.00	42,796.00	42,796.00	42,796.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
青少年から家族連れまで利用してもらう。	利用者数	人	9,609.00	8,565.00	10,000.00	10,500.00	11,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (計画)	32年度 (計画)	期間限定総投入量
財源	県支出金	千円	0	0	0	0	0
内訳	地方債	千円	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	18,323	18,696	18,696	18,696	0
	事業費計(A)	千円	18,323	18,696	18,696	18,696	0
人件費	正規職員従事人数	人	3.00	3.00	3.00		
	述べ業務時間	時間	401.00	400.00	400.00		
	人件費計(B)	千円	1,173	1,170	1,170		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	19,496	19,866	19,866		

事業費の内訳	29年度事業費 実績 (千円)			30年度事業費 予算 (千円)		
	01 報酬	5,950		01 報酬	5,950	
11 需用費	4,946		11 需用費	4,946		
12 役務費	118		12 役務費	118		
13 委託料	2,464		13 委託料	2,464		
14 使用料及び賃借料	4,214		14 使用料及び賃借料	4,214		
15 工事請負費	864		15 工事請負費	864		
16 原材料費	90		16 原材料費	90		
18 備品購入費	50		18 備品購入費	50		
	合計	18,696		合計	18,696	

(4) 当該年度の実施内容

30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 		

事務事業名	上野沼やすらぎの里管理運営事業	事務事業No.	40302000561	所属課	商工観光課
-------	-----------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 自然環境性に富んだ上野沼湖畔で余暇を楽しんでもらうため、昭和62年に開始された。平成23年の震災時はかなり利用者が減少したが平成26年度からは震災以前の利用者数に回復した。また近年は施設の老朽化に伴い修繕箇所が増えてきている。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 施設が老朽化しているので、修繕等によりリニューアルしてほしい。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	利用者増につなげるため、桜川筑西ICに接するロードパークへのパンフレット設置、観光協会ホームページや専門誌でのPR、市内向け割引期間の実施などを行う。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	上野沼やすらぎの里キャンプ場を利用する方々が快適に余暇を楽しみ、満足していただくために施設を管理する事業であるので市の政策体制に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	美しい自然環境の中にある上野沼やすらぎの里キャンプ場で、快適に余暇を楽しんでもらうための管理事業なので妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	パンフレット、ホームページ、SNS等を活用し、桜川筑西ICに近接する利便性の良さや、自然環境の美しさ、類似施設と比較しての利用料金の安さなどを県内外へPRして成果を向上させる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市の観光施設の中でも、多くの利用者がある施設のため廃止すると桜川市の観光客数に影響が有る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	現在統合できる可能性のある事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	現在も最低限の管理費や人件費で運営を行っているため削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	市民または市民以外でも施設利用が可能であり、利用者は市条例によって定められた利用料を支払っている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	上野沼やすらぎの里キャンプ場は北関東自動車道桜川筑西ICや国道50号に隣接した利便性に加え、四季を通して水辺の自然とふれあえる憩いの場である。H29はパンフレットをリニューアルし、利便性の良さや利用料金の安さなどをPRした。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 施設整備から30年が経ち施設全体が老朽化している。また施設内のトイレについてもまだ半数以上が和式のため、徐々に洋式化を図り、施設の老朽化についても継続的に修繕を行っていく。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	②																							
		コスト削減優先度評価結果	⑦																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>